

## 概 況

「子供の時代に子供らしい体験を重ねること、四季折々の変化を体で感じながら心を耕していくことは、人間が成長していく上で欠かせない貴重な財産であるに違いない。」

この財団設立の理念の基、定款第4条第1項1号に掲げる公益目的事業は、本年度も「子どもゆめ基金」からの助成金の交付を受け、北海道の豊かな自然と文化を生かした「子ども自然体験塾」を実施しました。（詳細は第1事業の状況に記載）実施にあたっては、多くの外部講師や指導者の協力を得て、子供たちの「自力（みづからりよく）を育む」ことを主眼とし、自然との共生の大切さを学びながら、科学的に物事を考える態度を育てることを目指しました。

自然体験学習事業も8回目を数え、子ども達が自然との触れ合いを通して、自然界の巧みな仕組みについて理解を深めることに一定の成果をあげつつも、応募者数の漸減が続いております。特に顕著に表れているのは「植物塾」において指導者の増員や参加対象者に家族を含める等の手直しを進めてまいりましたが、それでもなお且つ定員割れが生じており、抜本的な改革の必要に迫られております。

普及活動の一環として、活動中の子ども達の様子を「ホームページの＜活動の様子（スライド）＞」欄でスライドショーとして紹介をしておりますが、手軽で利便性の高いスマートフォン（高機能携帯電話）やタブレット型端末の急速な普及状況に鑑み、その対応も視野にいれる必要があると思われま

す。その他、事業の継続のための財源の確保、特に寄付金収入の増加について、有効な手が打てず手詰まり状態となっており、次年度も取り組まなければならない大きな課題として残りました。

以上